

生活環境影響調査の予測結果の前回との比較

○排ガスの諸条件の設定の比較

項目	前回の計画値		今回の計画値		各種法基準	備考
	1炉あたり	2炉稼働時	1炉あたり	2炉稼働時		
稼働日数	265日/年					
湿り排出ガス量	29,000m ³ /h	58,000m ³ /h	30,290m ³ /h	60,580m ³ /h		・入札参加(予定)のプラントメーカー複数社に排ガスに関するアンケートを行い、最も環境負荷が高い値が出るメーカーの値を採用 ・採用した値に安全率(余裕率)を換算し、排ガスの諸条件を設定(濃度が高くなる)
乾き排出ガス量	23,000m ³ /h	46,000m ³ /h	18,980m ³ /h	37,960m ³ /h		
排ガス温度(煙突出口)	182℃		155℃			
乾き排出ガス中の酸素濃度	16.8%		11.7%			
排出速度(吐出速度)	25.2m/s		26.4m/s			
煙突高さ	59.0m		59.0m			
煙突出口の口径	0.82m		0.70m			
排出ガス濃度 (酸素濃度 12%換算値)	硫黄酸化物	100 ppm		※K=17.5	※K=17.5	
	ばいじん	0.02 g/m ³ N		0.15 g/m ³ N	・硫黄酸化物に関するK値規制は自治体ごとに異なるが、日田市は17.5である ・K=17.5をppmに換算するには、各種条件を設定する必要がある、仮に、湿り排出ガス量60,000m ³ N/h、排出ガスの排出速度18m/s、排ガス温度180℃、煙突の高さを59mとした場合、約1,860ppmとなる	
	窒素酸化物	100 ppm		250 ppm		
	塩化水素	100 ppm		430 ppm		
	ダイオキシン類	0.1 ng-TEQ/m ³ N		5 ng-TEQ/m ³ N		
水銀	30 μg/m ³ N		30 μg/m ³ N			

○予測結果の比較

・予測の基礎条件となるバックグラウンド濃度はR3-4年度に行った現地の調査データを使用している

■大気質

【煙突排ガスの排出による影響】

(1)長期平均濃度(年平均値) ⇒ 『生活環境影響調査のあらまし』7ページ

項目	前回の予測結果				今回の予測結果			
	予測地点	バックグラウンド濃度 ①	寄与濃度(年平均値) ②	将来濃度(年平均値) ③=①+②	予測地点	バックグラウンド濃度 ①	寄与濃度(年平均値) ②	将来濃度(年平均値) ③=①+②
二酸化硫黄(ppm)	最大着地濃度地点(東側800m)	0.001000	0.000273	0.001273	最大着地濃度地点(東側700m)	0.001000	0.000557	0.001557
二酸化窒素(ppm)		0.002000	0.000067	0.002067		0.002000	0.000131	0.002131
浮遊粒子状物質(mg/m ³)		0.013000	0.000055	0.013055		0.013000	0.000111	0.013111
水銀(μg/m ³)		0.001500	0.000082	0.001582		0.001500	0.000167	0.001667
ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)		0.010400	0.000273	0.010673		0.010400	0.000557	0.010957

(2) 短期平均濃度(1時間値) ⇒ 『生活環境影響調査のあらまし』8ページ

① 大気安定度不安定時(煙突排出ガス:最大値)

項目	前回の予測結果				今回の予測結果			
	予測地点	バックグラウンド濃度 ①	寄与濃度 (1時間値) ②	将来濃度 (1時間値) ③=①+②	予測地点	バックグラウンド濃度 ①	寄与濃度 (1時間値) ②	将来濃度 (1時間値) ③=①+②
二酸化硫黄(ppm)	最大着地濃度地点 (風下650m)	0.014	0.00190	0.01590	最大着地濃度地点 (風下640m)	0.014	0.00372	0.01772
二酸化窒素(ppm)		0.009	0.00046	0.00946		0.009	0.00089	0.00989
浮遊粒子状物質(mg/m ³)		0.049	0.00038	0.04938		0.049	0.00074	0.04974
塩化水素(ppm)		0.001	0.00190	0.00290		0.001	0.00372	0.00472

② 上層逆転層発生時(煙突排出ガス:最大値)

項目	前回の予測結果				今回の予測結果			
	予測地点	バックグラウンド濃度 ①	寄与濃度 (1時間値) ②	将来濃度 (1時間値) ③=①+②	予測地点	バックグラウンド濃度 ①	寄与濃度 (1時間値) ②	将来濃度 (1時間値) ③=①+②
二酸化硫黄(ppm)	最大着地濃度地点 (風下570m)	0.014	0.00548	0.01948	最大着地濃度地点 (風下650m)	0.014	0.00741	0.02141
二酸化窒素(ppm)		0.009	0.00126	0.01026		0.009	0.00177	0.01077
浮遊粒子状物質(mg/m ³)		0.049	0.00110	0.05010		0.049	0.00148	0.05048
塩化水素(ppm)		0.001	0.00548	0.00648		0.001	0.00741	0.00841

③ 逆転層崩壊時(フュミゲーション)(煙突排出ガス:最大値)

項目	前回の予測結果				今回の予測結果			
	予測地点	バックグラウンド濃度 ①	寄与濃度 (1時間値) ②	将来濃度 (1時間値) ③=①+②	予測地点	バックグラウンド濃度 ①	寄与濃度 (1時間値) ②	将来濃度 (1時間値) ③=①+②
二酸化硫黄(ppm)	最大着地濃度地点 (風下184m)	0.014	0.00370	0.01770	最大着地濃度地点 (風下166m)	0.014	0.00742	0.02142
二酸化窒素(ppm)		0.009	0.00070	0.00970		0.009	0.00140	0.01040
浮遊粒子状物質(mg/m ³)		0.049	0.00074	0.04974		0.049	0.00148	0.05048
塩化水素(ppm)		0.001	0.00370	0.00470		0.001	0.00742	0.00842

④ 煙突によるダウンウォッシュ(煙突排出ガス:最大値)

項目	前回の予測結果				今回の予測結果			
	予測地点	バックグラウンド濃度 ①	寄与濃度 (1時間値) ②	将来濃度 (1時間値) ③=①+②	予測地点	バックグラウンド濃度 ①	寄与濃度 (1時間値) ②	将来濃度 (1時間値) ③=①+②
二酸化硫黄(ppm)	最大着地濃度地点 (風下660m)	0.014	0.00076	0.01476	最大着地濃度地点 (風下660m)	0.014	0.00133	0.01533
二酸化窒素(ppm)		0.009	0.00017	0.00917		0.009	0.00031	0.00931
浮遊粒子状物質(mg/m ³)		0.049	0.00015	0.04915		0.049	0.00027	0.04927
塩化水素(ppm)		0.001	0.00076	0.00176		0.001	0.00133	0.00233

⑤ダウンドラフト(煙突排出ガス:最大値)

項目	前回の予測結果				今回の予測結果			
	予測地点	バックグラウンド 濃度 ①	寄与濃度 (1時間値) ②	将来濃度 (1時間値) ③=①+②	予測地点	バックグラウンド 濃度 ①	寄与濃度 (1時間値) ②	将来濃度 (1時間値) ③=①+②
二酸化硫黄(ppm)	最大着地 濃度地点 (風下610m)	0.014	0.00080	0.01480	最大着地 濃度地点 (風下610m)	0.014	0.00139	0.01539
二酸化窒素(ppm)		0.009	0.00018	0.00918		0.009	0.00031	0.00931
浮遊粒子状物質(mg/m ³)		0.049	0.00016	0.04916		0.049	0.00028	0.04928
塩化水素(ppm)		0.001	0.00080	0.00180		0.001	0.00139	0.00239

【廃棄物運搬車両の走行による影響】 ⇒ 『生活環境影響調査のあらまし』9ページ(車両台数 214台 ⇒ 254台)

項目	前回の予測結果				今回の予測結果			
	予測地点	バックグラウンド 濃度 ①	廃棄物運搬車両 による負荷濃度 ②	将来濃度 ③=①+②	予測地点	バックグラウンド 濃度 ①	廃棄物運搬車両 による負荷濃度 ②	将来濃度 ③=①+②
二酸化窒素(ppm)	D地区 北東側	0.004	0.000046	0.004046	D地区 北東側	0.004	0.000046	0.004046
	D地区 南西側		0.000048	0.004048	D地区 南西側		0.000048	0.004048
	E地区 北東側		0.000027	0.004027	E地区 北東側		0.000027	0.004027
	E地区 南西側		0.000034	0.004034	E地区 南西側		0.000034	0.004034
	G地区 北東側		0.000047	0.004047	G地区 北東側		0.000047	0.004047
	G地区 南西側		0.000031	0.004031	G地区 南西側		0.000031	0.004031
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	D地区 北東側	0.016	0.000004	0.016004	D地区 北東側	0.016	0.000004	0.016004
	D地区 南西側		0.000004	0.016004	D地区 南西側		0.000004	0.016004
	E地区 北東側		0.000003	0.016003	E地区 北東側		0.000003	0.016003
	E地区 南西側		0.000003	0.016003	E地区 南西側		0.000003	0.016003
	G地区 北東側		0.000004	0.016004	G地区 北東側		0.000004	0.016004
	G地区 南西側		0.000003	0.016003	G地区 南西側		0.000003	0.016003

※車両台数を214台⇒257台として周辺環境に対する影響の予測を行いました。が、車両台数増加に伴う予測数値の変更はなかった。

■騒音(『生活環境影響調査のあらまし』10ページ)

【廃棄物運搬車両の走行による影響】(車両台数 214台 ⇒ 254台)

項目	前回の予測結果		今回の予測結果	
	予測地点	予測結果 (デシベル)	予測地点	予測結果 (デシベル)
自動車騒音レベル (等価騒音レベル)	D地区 北東側	64.3	D地区 北東側	64.5
	D地区 南西側	64.1	D地区 南西側	64.3
	E地区 北東側	62.3	E地区 北東側	62.5
	E地区 南西側	62.8	E地区 南西側	63.0
	G地区 北東側	66.2	G地区 北東側	66.4
	G地区 南西側	63.5	G地区 南西側	66.9

■振動（『生活環境影響調査のあらまし』11ページ）

【廃棄物運搬車両の走行による影響】（車両台数 214台 ⇒ 254台）

項目	前回の予測結果		今回の予測結果	
	予測地点	予測結果 (デシベル)	予測地点	予測結果 (デシベル)
振動レベル (道路交通振動レベル)	D地区 北東側	40.6	D地区 北東側	41.0
	D地区 南西側	40.6	D地区 南西側	40.9
	E地区 北東側	40.0	E地区 北東側	40.3
	E地区 南西側	40.2	E地区 南西側	40.5
	G地区 北東側	34.1	G地区 北東側	34.5
	G地区 南西側	34.3	G地区 南西側	34.7

【生活環境影響調査書の縦覧及び意見書の提出について】

■調査書の縦覧

- ・縦覧期間 …… 令和7年2月10日(月)～令和7年3月11日(火)
- ・縦覧場所 …… 各振興局、振興センター、地区公民館、市役所3日以内窓口(1階)、新清掃センター建設室(2階)

■意見書の提出

- ・提出先：日田市役所市民環境部新清掃センター建設室(市役所2階)
- ・提出方法
 - ①書面の持参・郵送 …… 提出先 日田市田島2丁目6番1号 日田市役所 市民環境部 新清掃センター建設室
 - ②ファックス …… 0973-22-8241
 - ③電子メール …… h-suishin@city.hita.lg.jp
- ・提出期間 …… 令和7年3月12日(水)～令和7年3月25日(火)

【新清掃センター建設スケジュールについて(予定)】

- ・施設の設計・施工期間 …… 令和8年1月～令和11年3月31日(3年3ヶ月)
- ・新清掃センターの稼働開始 …… 令和11年4月1日